第8回 おかげ横丁 エコ参宮
植物鑑賞マップ

北

0 200 400 [m]

風致地区

＊鑑賞のポイント

34、ベニバナトキワマンサク

トキワマンサクが伊勢神宮内で発見されたことは
ご存知の方も多いですが、ベニバナトキワマンサクは
中国から輸入されましたトキワマンサクの変種です。
挿し木での繁殖も可能で、同時に白色と紅色の花を咲かせる
混合種は貴重とされます。
混合種は伊勢路栽苑で鑑賞できます。

牛谷坂

牛谷という名は、この坂付近に牛鬼という怪物がいたという
牛鬼伝説の由来から名付けられました。
延宝2年(1674)頃の当時の道は、今の牛谷坂のようなまっすぐな坂道ではなく、
坂の上り下りは困難な状況でした。
その現実を危惧した古市の妓楼「千束屋」の主人は、山田奉行の許可を得て、
身銭をきって改修工事を元禄10年(1805)行いました。
そのおかげで、現在のまっすぐな牛谷坂になっております。

花見をする茶屋の娘

牛谷坂には桜がたくさん
植えられております。
この桜の下で、古市街道の茶屋の
娘も花見をしたそうです。
また、この娘を見たくて、周辺の
若旦那衆が牛谷坂に集まる風景も
しばしば見受けられたそうです。

7、イボタノキ

この木の葉に寄生するイボタロウムシが分泌する「いぼた蝋」は
蝋燭の原料や日本刀の手入れに活用されます。
材はきめが細かく楊枝などを作ることに用いられます。
また先人の知恵として、算筒の引きが悪い場合に、
この蝋を塗りこむと滑りが良くなります。

29、イヌビワ

果実がビワに似ているが劣るという意味で名づけられました。
イタビという別名もあり、樹皮はつるりとしています。
実は秋には黒紫色に熟し、食べられます。
食感はイチジクによく似ており、小さな種が多数中に入っています。
カワニナのエサとして利用もできます。

ビオトープ(自然空間)

伊勢路栽苑の中には、ビオトープと
呼ばれる自然空間の保護と、
生物再生を目指して作られる
自然空間を設けております。
人の手が加わって再生された自然ですが、
数種類の生物が
確認されています。

植物の名称一覧

1 シラカシ
2 トチ
3 クロマツ
4 マンリョウ
5 スイバ
6 ヤマアザミ
7 イボタノキ
8 ノゲシ
9 ネザサ
10 ノイバラ
11 ウマノアシガタ
12 ハコベ
13 シケシダ
14 ジュウヤク
15 フモトシダ
16 テイカカズラ
17 ヤエムグラ
18 アカメガシワ
19 ジロボウエンゴサク
20 フユヅタ
21 アラカシ
22 アリドウシ
23 アケビ
24 アツデ
25 マルバベニシダ
26 ムラサキシキブ
27 タネツケバナ
28 シイ
29 イヌビワ
30 シャガ
31 マサキ
32 ウバメガシ
33 イヌマキ
34 ベニバナトキワマンサク
35 オカメザサ
36 ヤマフジ
37 サツキ
38 イヌツゲ
39 サクラ
40 ヒラドツツジ
41 スギ
42 クス
43 アセビ
44 ナンテン
45 ヒバ
46 アオキ
47 ノムラツツジ
48 センリョウ
49 ドウダンツツジ
50 アカメモチ
51 ホルトノキ
52 エノキ(一里塚)
53 タマシダ
54 ツワブキ
55 シバザクラ
56 カスマグサ
57 シダレザクラ
58 ヒロハキミガヨテン
59 ハラン
60 モッコク
61 モチノキ
62 トウキワマンサク
63 ヒサカキ
64 アカマツ
65 ササンカ
67 キランソウ
68 サンゴジュ
69 クヌギ
70 ヤマツバキ
71 鹿六庵
72 アケビ
73 ハナズオウ
74 ニシキギ
75 ヤマボウシ
76 キズタ
77 オニノノゲシ
78 コクサギ
79 シロダモ
80 ヤマガキ
81 テイカカズラ
82 アラカシ
83 フモトシダ
84 コシダ
85 ナンテンハギ
86 ホラシノブ
87 フユイチゴ
88 サルトリイバラ
89 テリハノイバラ
90 コジイ
91 ツルグミ
92 コノデガシワ
93 フェニックス カナリエンシス
94 スギナ
95 ボロギク
96 ギシギシ

【 猿田彦神社・牛谷坂 周辺 】

伊勢内宮前 おかげ横丁 伊勢路栽苑